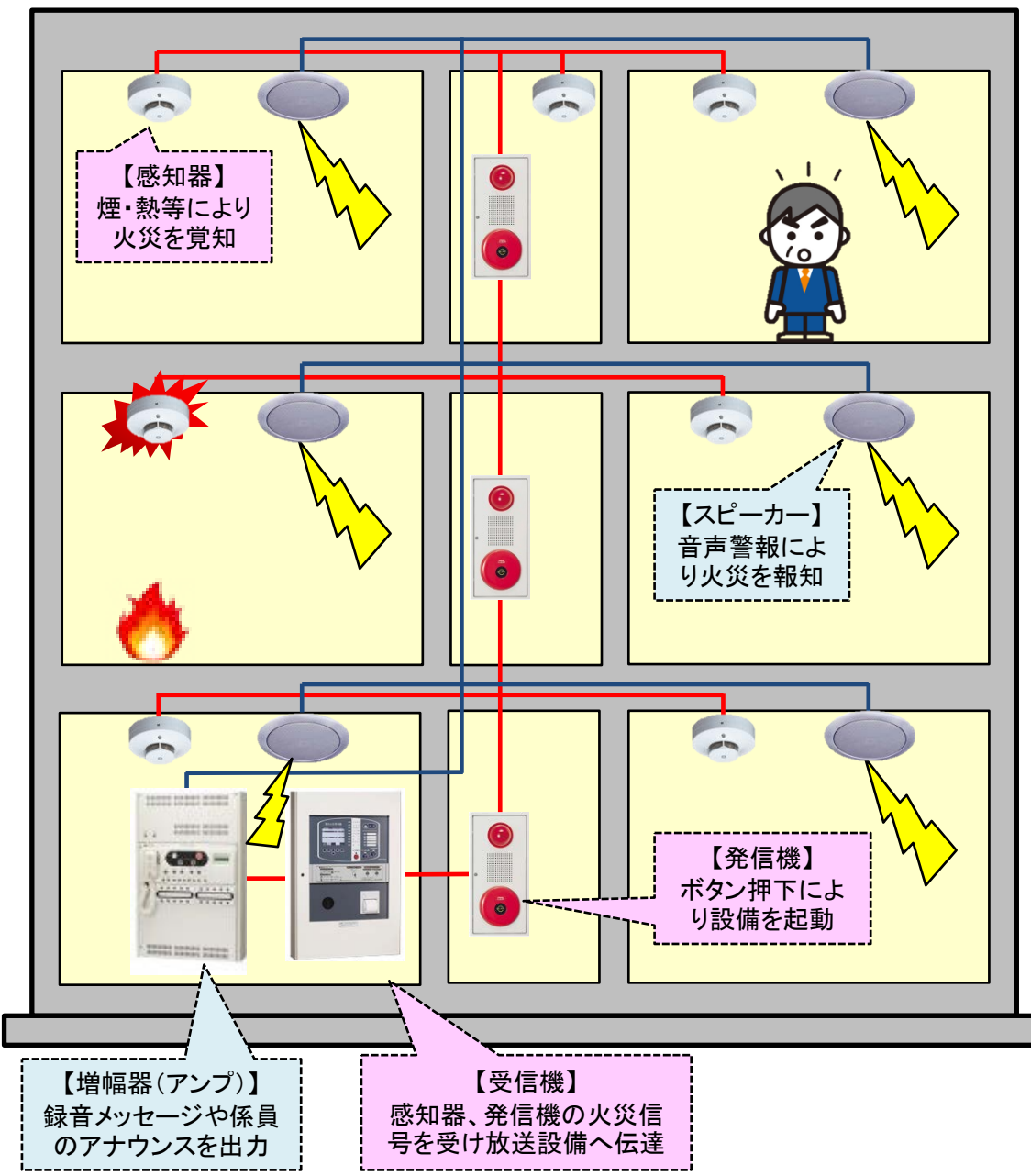


自動火災報知設備と放送設備の概要



○自動火災報知設備

火災の発生を自動で感知し、在館者に報知する設備。
音響装置はベルや放送設備の音声警報を用いる。

(※左図は放送設備を音響装置とした例)

【構成機器】

- ・感知器: 館内全域に配置され、火災により発生する熱や煙等を感知した際は、受信機へ火災信号を送る。
- ・発信機: 在館者が火災の発生を覚知した際に、ボタンを押下することにより、人為的に受信機へ火災信号を送る。
- ・受信機: 感知器や発信機からの火災信号を常時監視し、火災発生時には音響装置を鳴動させる。

○放送設備(非常警報設備)

火災の発生、避難誘導の情報を音声放送により伝達する設備。自動火災報知設備の起動と連動して自動で音声メッセージを流したり、係員の肉声による放送を行う。

【構成機器】

- ・増幅器: 自動火災報知設備からの信号を受け、又は係員が起動することにより館内のスピーカーへ音声放送を送出する。
- ・スピーカー: 館内全域に配置され、音声放送を流す。

○総合操作盤

自動火災報知設備や放送設備に限らず、スプリンクラー設備、排煙設備、防火戸の閉鎖等、建物に備わった複数の防災設備を一元的に監視、操作等を行うことができる設備。

